1面からつづく

正木　美容師さんって、技術はもちろんのこと、コミュニケーションも必要ですよね。その線が引かれたことは？

三木　言われたことはないです。目の前のお客様を自然に好きになり、こうしたら「かわいいかな」と思いますね。それに、もしこの席に座っているのが自分だったらどうして欲しいだろうかなと考えると楽しくなります。

正木　結構プライベートなことを話しやったりするじゃないですか。ほかの仕事で、座った瞬間からすごく親しくしゃべるっていう美容師はあんまりないと思うんです。それが髪って見た目の印象を変えてしまう。すごいキーの仕事だと思います。座った瞬間に人の気持ちをどうするとかはすごいことやすよね。

三木　まずは私に興味を持って頂くことが一番大事。初に私も目の前のお客様に興味を持つことが大切です。そして見た目は重要だと思いますので、まずは自分に関心を持ってもらえるように頑張る努力はしています。見た目に興味がなければ絶対話をしないし、心動いて頂けません。

田口　私も、一緒ですね。何かを感じて何かメニューをしにお客様はサロンに来られているから、自然に言葉が出てくるというか、気心感があると思うんです。

三木「スタッフみんなが毎日楽しく仕事ができるようなサロンを」
田口「スタッフと一緒に学んで、一緒に成長したい」

正木　私もいろんな美理の人と会っていますが、美容師の方は華やかさがありますよね。華やかな美容だからこそ、コミュニケーションが大事だと思いますが、その辺り半田さんは学生さんたちの様に教えておられますか。

半田　いろいろ教えていますが、接客マナーやサロン概要レッスンなどもやっていますが、特にヘアルトでは「接遇論」という私が担当する授業があります。自分の考えがないと人とコミュニケーションってできないですからまずは自分を磨こう、自分の意見を出そう、また自分しく生きていくことは気持ちいいんだ、ということを学ぶ授業なんです。

正木　なるほど、今の若い人って自己PRが苦手だったりしますものね。では、今度は三木さんに伺いたいのですが店舗を持とうと思ったきっかけは何ですか？

三木　美容師の仲間がなくさんいて、みんな美容が好きでやっているはずなのに、店や仲間の機嫌などが出て来て、辞めることばかりなってしまうのもあって、みんなが毎日楽しく仕事ができるようなサロンを作ろうと思ったのがきっかけです。それで、開店時に、美容師さんはプライベートなことを話しやったりするから、受け入れてくれる雰囲気が必要なんですね。お二人はお客様が座ってる椅子に立ってもらったらほっとするムードがあるんでしょうね。私も改めてその安心感が美容師の大事な要素かなと思います。

美容師が少なくなってきたんです。辞めていく美容師も多いし、あるいは結婚した後で、また戻ってくるにしてもなかなか働くサロンがなかったり、働けても条件が合わなかったり。だから、みんなを美容師に戻したいというのがあったし、そういう仲間と一緒に仕事がしたいなというのもあって、みんなが毎日楽しく仕事ができるようなサロンを作ろうと思ったのがきっかけです。それで、開店時は、美容師仲間も何人かいて、何しろ通勤時間が短めていくつもいたので、じゃあ誰しもに毎日楽しく働けるお店を神戸に作ろうと。ですから経営とかいうのは自分の中で重要ではなく、とにかくみんな美容師を辞めて欲しくないというだけなんです。

半田　経営者重視しないとのことですが、経営者にとってそれが一番難しいと思います。とくに美容の場合はスタッフが主で、その人たちによる売上げにかかってしまいますからね。簡単におっしゃいますが、人が辞めない店の秘訣を教えて頂きたいですね。

三木　みんなが毎日楽しく仕事ができたのが一番大事。そのスタッフのできない点を先輩がフォローしてやって、いい箇所を引き出してあげれば仕事が楽しくなる。それをお客様にアピールしてあげることで認められる。文句を言っているスタッフはどの店に行っても結局、一緒だと思う。毎日楽しく仕事ができているというのが私の中では一番大事なんです。

半田　結婚して仕事を辞めてから、また戻れるシステムがあるんですか。

三木　子供がいるスタッフには、美容師に戻った時には一年間命働ける条件をこちらが教えてあげる。その条件は学の人によって違います。我がままといったら我がままなんでしょうが、それを言ったら働けるサロンはどこにもない…。

半田　週に数日しか来ないとか、何時間しか働けないでもOK？

三木　私の中ではOKです。1時間も時間も美容師に戻りたいと、サロンに来てお客様を前にして楽しく仕事ができて次の日の朝になれば、と思っています。周りのスタッフがその条件を認めなかったり、陰口を言ったりするのは、私は入としておかしいと思う。それぞれに事情や我がままな部分があるので、それは当たり前。ちゃんと話をして、何のスタッフにもアナウンスをして、じゃあ一緒に働きましょう、という雰囲気をつくっています。

正木　なかなか珍しいことですよね。

半田　美容師は女性が多いから、私も辞めないで欲しいと思いますが、やっぱり結婚や出産で辞めてそのままになってしまうのが実際に多いですよね。

正木　今、サロンのスタッフは若い人ばかりで、私たちと同じ年代の女性が少ないかなと感じます。

三木　年配の美容師さんでもすごく上手な方もいるし、年齢がいってるだけとかブランクがあるというだけでサロンへ戻れないのは寂しいですね。

田口　私も一緒に歳んで一緒に成長したいという気持ちがあれば、周囲が手の人に合わせた条件を飲んであげるべきだと思っています。うちでもヘアメイクの仕事をしながら働いているスタッフもいます。学んできたことを店に落とし込んで後輩たちに刺激を与えて欲しいと思いますし、子供を産んで週に2日だけ勤務としているスタッフもいます。

お客様がそのスタッフを望んでくれるのなら、また一緒の方向を向いて頑張れるなら、働ける環境を作っていきます。

三木「経営者にはなりきれない、技術者なんです」
田口「出産後、1カ月でサロンに戻りました」

正木　結婚してお子さんを産むことを考えながら仕事をするのはどの業界でもそうですが、特に美容業界は勤務時間が長いし大変でしょう。田口さんご自身も子供を産んでその後もお仕事をしていらっしゃいますが、復帰のタイミングって難しくなかったですか？

田口　仕事から離れるというのは考えられなかったので、出産後、1カ月くらいで戻りました。産前産後もお腹がパンパンなのに働いていました。忙しいと思ったんですが（笑）。

正木　お腹が大きい時は立ち仕事、大変じゃなかった？

田口　すごく幸せなことで、大丈夫だったんですよ。

半田　本当に仕事が好きなんですね。

田口　私はたまたま出産休が大丈夫だったので働けましたが、同じことをスタッフには無理強いできません。無理ならしなくていいし、戻ってきたいときに戻ってきたらいいです。

正木　お二人とも、今は2店舗と手広くしておられますが、これからも、もっと増やしていこうと考えていますか。

田口　スタッフと一緒に成長したいですから、その場が必要になったときが3店目を出す時です。ただ店だけ作っても人がいないと意味がありません。今のスタッフでも自分でサロンをしたい子はするでしょうしね。ですから一緒にしたいと思ってくれてフロアがあふれた時ですね。

三木　私のサロンは大阪と神戸ではコンセプトや中身、広さも全く違いますが、それぞれで仕事をしてそれでも美容師仲間から意見があれば、その地域で出店するかもしれません。でも、そういう意見がなかったら、もうこのままです。逆に今のサロンでも、スタッフが独立したり、気に入ったサロンができたのを辞めるというならそれはそれで大歓迎。そうなれば店に一店舗にするかもしれません。

だから私自身はそんなに「サロン経営」に対するこだわりはなくて、美容師がしたい子はするでしょうしね。ですから一緒にしたいと思ってくれてフロアがあふれた時ですね。

We'll do my best for salon!
私たちは、あなたのサロンにベストを尽くします。
美容器具・材料、頭髪用品及び関連商品販売
株式会社 多田美容商事
本社：〒657-0027 兵庫県神戸市灘区永手町2-2-8
TEL(078)822-6121 FAX(078)822-6126
姫路：TEL(0792)87-2157 FAX(0792)87-2158
大阪：TEL(06)6787-0055 FAX(06)6787-0012
徳島：TEL(088)657-7401 FAX(088)657-7402

三木「スタッフとの線が引かれてしまうのが寂しい…」
田口「スタッフとは線があってもいいと思います」

正木　お二人のサロンにはスタッフは何人いらっしゃるんですか？

三木　神戸と大阪で合わせて13人です。

田口　私のサロンは今店舗で18人です。

正木　結構いらっしゃいますね。お客様もその人たちについてくるということですけど、スタッフの方たちに対して、同じ技術者という立場と経営者という立場の両方がある、そういうのって難しくはないですか？

三木　難しいですね。私は大阪で働いていますが、一緒に働いているスタッフとは互いに言いたいことをはっきり言って長い話になったりします。でも神戸に行くとオーナーという立場になってしまうので、線が引かれてしまう。給料を払う立場でもうる側の立場にしかならないのが悩しい…。

同じスタッフ仲間として働いている時はサロンを辞めてもまたつながりがありますが、経営者になって、スタッフが辞めてしまうとどうしても辛くなってしまう！。

田口　私はスタッフと線はあっていいと思います。もちろんデザインとか、何かスタイルを見て話をする時は「何でそうなっているの」とか、「どうがいいの」という感じで、いいところを見つけ、そのスタッフが今日一日楽しく仕事ができたかを考える。ですから看護師というよりも、みなさん美容師になりたい、という気持ちで入ってきていると思うので育てていきたい、という感じですね。

正木　なかなかできないことですよ。

半田　三木さんのようなオーナーはみのニーズに合っていると思いますね。今の美容学生は、どんなところに就職したいかというと、自分を受け入れてくれるサロンなんです。今の子って受身で、自分がここに行きたいというのではなく、自分を受け入れてくれるのだろうかと心配する。三木さんが言われたように「モンローズに来てくれたスタッフは育てますよ」と言ってくれると、それは嬉しい。オーナーも時代によって考え方を変えていかないといけないでしょうね。「うちで働く気があったら採用するよ」、みたいな感じだと、今の若い子は就職したがらないんですよ。

田口　今の話を聞いたら変わらないといけないなと思います（笑）。

半田　でも逆に、店の特徴がなかったらだめで、若い子にとっては魅力がない。

正木　我がままやね（笑）。ローズに来てくれたスタッフは育てますよ。就職する側も採用する側も多々にこだわりがありますからね。

三木　美容師は最高ですね。ずっと続けていきたい。人を綺麗にすることが自分の喜びとなっているので、美容師は最高の職業でもあり、ある意味、私の中では神様、と言いますか、職業と一言で語れないものになっています。

田口　一緒です。「ありがとう」と言ってもらえて、「ありがとうございます」とこっちも言える仕事って素晴らしいです。そういう意味でもすごくいい仕事です。

正木　仕事のやり方や生き方が全然違う女性3人が、口をそろえて「最高」と言う。私もいろんな経営者の方と会っていますが、こんな嬉しそうな顔で「最高」って聞くことはあんまりありませんよ。

半田　私も聞いていて美容師って改めて素晴らしい仕事だと思いました。

正木　人を幸せにする仕事って本当に素晴らしいですね。

半田　こんなにみんなが「最高」っていう仕事だからこそ高校生のみなさんたちに、もっと美容師になりたい、と思ってもらえるようにしたいですね。そうすれば素晴らしい人材がこの業界に入って来られるでしょう。美容は本当に人が命。技術だけじゃなくて、人間的にも豊かであったり、本当に美を愛するとか、そういう人が入ってきてくれたらもっともっと発展する分野だろうと思います。

正木　では最後に、夢をお聞きしたいんですが。

三木　今海外に出る日本人ももっと多くなるんですから、もっと代表取締役。就職社員として数々の企業でキャリアを積み、起業ノウハウを修得。結婚を機に、2002年「株式会社もっと」を設立し、ラジオ番組、出版、イベントなど多方面に渡り、企画・プロデュースをこなす。毎日放送・KBS京都・ラジオ関西では、企画のみならず、自らもパーソナリティーとして出演し人気番組に。

5人の子育てと仕事の両立、出版、放送を通して経験した数百名のインタビュー取材などを、パワフルで笑いに満ちたトークで披露する講演が大好評。各企業、団体で受講者に勇気と元気を与え続けている。

現在は「KiraKira☆Tomorrow！～あなたの明日が輝くように～」（Be Happy！FM78・9kHz毎週水曜日22～23時）をオンエア中。

●半田まゆみさん プロフィール

専門学校神戸専修学園　ヘアラルト阪神理容美容専門学校理事長。関西学院大学法学部卒業。美容師免許取得。ヘアスタイリストの育成に力を注ぐほか、エネルギッシュな講演で全国の人々に勇気と元気の後押しをし、職業理解のための講演では理容・美容の仕事の素晴らしさを多くの人に伝えている。『丸刈り番長中』（たま出版）、『私らしく　しあわせになる方法』（新風舎）、『髪のコードを読む』（女性モード社）など著書多数。

●田口美保子さん プロフィール

1972年、大阪市生まれ。追手門学院大学卒。㈱SAKULA　代表取締役。美容師の両親を持ち、大学在学中に美容師免許を、卒業後に理容師免許を取得して家業の美容室に就職。今年法人化し、大阪市内に2店舗を経営する。スロースターターながら技術習得に励み、ヘアコンテスト世界大会に出場、3位の成績を収める。スタッフにもコンテスト出場を奨励し、技術とセンスを兼ね備えた店づくりに努める。「すべての人との出会いを大切に、その人自身の素敵を輝きだせるように」をモットーに2代目の枠を超えて活躍中。

●三木梨美子さん プロフィール

兵庫県出身。「hair　in Montrose（モンローズ）」を経営する㈱アートミキ代表取締役。美容学校卒業後、関西の多くのヘアサロンで勤めた後に独立。大阪府豊中市に第1号の大阪店をオープン。その後、リフレクソロジーやアロマも提供できるトータルビューティーサロンとして神戸店をオープン。自宅での再現力があるヘアカットに独自の技術を持ち、後進を育てながら一流の技術者として活躍中。

●正木　ゆきさん プロフィール

1967年大阪市出身。㈱もっと代表取締役。就職社員として数々の企業でキャリアを積み、起業ノウハウを修得。結婚を機に、2002年「株式会社もっと」を設立し、ラジオ番組、出版、イベントなど多方面に渡り、企画・プロデュースをこなす。毎日放送・KBS京都・ラジオ関西では、企画のみならず、自らもパーソナリティーとして出演し人気番組に。

5人の子育てと仕事の両立、出版、放送を通して経験した数百名のインタビュー取材などを、パワフルで笑いに満ちたトークで披露する講演が大好評。各企業、団体で受講者に勇気と元気を与え続けている。

現在は「KiraKira☆Tomorrow！～あなたの明日が輝くように～」（Be Happy！FM78・9kHz毎週水曜日22～23時）をオンエア中。